

令和6年11月18日

各位

庶務課長代理
杉浦 宏章

令和6年度 大学・短期大学部防災訓練の実施について(お知らせ)

I 日 時: 令和6年12月4日(水)11:40～(訓練開始)

※当日雨天の場合は、12月11日(水)の同時刻に実施します。

※当日は危険防止の為、動き易い履物を利用して下さい。

(サンダル、ハイヒール等は危険ですので控えて下さい。)

※貴重品等は各自で管理願います。

II 避難場所: グラウンド

III 対象建物: 全館(ただし、体育館、3号館及び実験・実習室、体育施設(フィットネスルーム等)は除く)

IV 実施要領

1. 避難訓練

① 一斉放送が11:40に入ります。

「これは訓練です。これは訓練です。」

「ただいま、守口市内で震度5弱の揺れが観測されました。全ての教育活動を停止し、次の指示があるまで、身の安全を図り、その場で待機して下さい。」

(シェイクアウト訓練の実施)

放送が聞こえたら、避難路を確保するため、出入口扉を開放。

(約1分後)

「揺れがおさまりましたので、建物内から、速やかにグラウンドに避難して下さい。

なお、エレベーターは停止しております。最寄の階段を利用して下さい。」

② 放送終了後、講義を受けている学生、または研究室等室内にいる学生の誘導を開始。

その他の方につきましては各自で避難を開始。避難場所への移動中、また移動後は現地職員の指示に従ってください。

③ 避難終了後、現地職員の指示に従い、グラウンドの所定の場所で待機して下さい。

V 総評(岸本学務部副部長(学生担当))

VI 解散(12:10を予定しています)

〈留意事項〉

1. 学生へのアナウンスについて

- シェイクアウト訓練のやり方。(下記参照)
- 避難訓練当日は、「UNIPA による安否確認システム」の使用訓練を実施しますので、訓練終了後、速やかに UNIPA にログインをし、アンケートに答えて、返信すること。
- 当日の履物は、動き易いものにする。 (サンダル、ハイヒール等は控える)
- 貴重品等は、避難する際に、各自で管理すること。

2. 当日は、体育館(フィットネスルーム等の体育施設含む)、3号館及び実験・実習室で講義中以外の方々につきましては、11:40までに講義を終了下さいませよう、お願いします。

以上

シェイクアウト訓練とは？

シェイクアウトとは、アメリカ合衆国で始まった地震防災訓練のことです。

英語では「Shake Out」と表記します。

シェイクアウト(Shake Out)の意味とは

「Shake-out of...」が「...から～を振り払う」、「...から～を脱出させる」という意味を持つことから、「地震を振り払おう!」、「地震から脱出しよう!」という意味を込めて造られた言葉ですが、日本では「一斉防災訓練」と訳されています。

単にシェイクアウトと呼ぶこともあれば、シェイクアウト訓練と呼ぶこともあります。

シェイクアウト訓練のやり方



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

シェイクアウトのやり方は、「DROP!(まず低く!)」、「COVER!(頭を守り!)」、「HOLD ON!(動かない!)」の三つです。

1. DROP!(まず低く!):しゃがんで姿勢を低くする(屋外の場合は、落下物の危険の少ない場所ですぐくまる)
2. COVER!(頭を守り!):机やテーブルの下に潜り込んで頭を守る(屋外の場合は、カバンなどで頭を守る)
3. HOLD ON!(動かない!):じっと動かず揺れが収まるのを待つ